

戦後70年・被爆70年 いま日本国憲法子どもの権利条約を活かし
子ども・生徒の学びと発達・進路を保障する学校づくりを
参加と共同の力で

第20次(通算54次)旭丘全学教育研究集会(第2部) にぜひご参加ください!

【ご案内】

旭丘高校では、毎年秋の全学教育研究集会第2部を「運動教研」として位置づけ、「無償教育と学校づくり・人間形成」を大きなテーマに、公費助成運動と教育づくり・学校づくりの実践を検証しています。

これまでの、地域と連携し全学の共同の力で取り組んで来た私学助成運動・公費助成運動は、学園(私学)の存立基盤を守り教育条件を整備する力となるとともに、子ども・生徒を「社会の宝」とする無償教育の理念と結び日々の教育づくり・学校づくりを豊かに創造する視点をもたらし、さらに「公費私学(公営私学)」を創造するとした学校の将来展望を与えています。

また、公費助成運動への参加は、旭丘高校生徒会の学校参加・社会参加の活動の中心軸に位置づけられ、それを通して「参加・自治・学び」を発展させる重要な実践の契機となって来ました。特に今年度は、「戦後70年」の節目の年に、全国の高校生の運動において「無償教育」を実現する課題と「平和」を創造する課題が意識的に結びつけられた取り組みがなされています。旭丘高校生徒会は、ホームルーム・学年を基礎に、こうした全国的な運動と結んで活動を展開し、一人ひとりの生徒の自治と学びを豊かなものにしていきます。

11.21の全学教研第2部においては、①私学助成・公費助成運動の到達点を無償教育運動にかかわる地域・日本社会・世界の課題と結んで検証し、今後の取り組みの課題を明かにすること、②学校参加・社会参加を通じた子ども・生徒たちの「自治」・「学び」の姿を検証し、今後の教育づくり・学校づくりの課題を明かにすることを目的とします。また、「18歳選挙権」制度が成立し、主権者教育・市民性の教育が改めて日本社会と高校教育の重要な課題となっていることも検証・討議の視点に据えます。

今回は全学各パートの代表者と地域・他団体からの参加者を中心とした学習会とし、学習の成果は各パートに持ち帰ると同時に全学教研3部(授業・教育課程づくり-公開研究授業教研)に生かしていきます。

皆さんのご参加をお待ちしています。

〈とき〉 2015年11月21日(土) 午後3時～5時(午後2時半開場)

〈ところ〉 旭丘高校ホール(城内キャンパス)

〈プログラム〉

●開会あいさつ 「旭丘高校六者懇談会」代表

●基調講演

「18歳選挙権と市民性の教育・主権者教育を考える」(仮題)

講師：金馬国晴氏(横浜国立大学)

●報告と交流

○生徒会代表(生徒会総務と各学年委員会の代表)

○PTA父母・保護者の代表

○父母懇談会旭丘支部の代表

○同窓会・卒業生の代表

○教職員(職員組合)の代表

○理事・評議員・学校指導部

○全国私教連・神奈川私教連の代表

○地域の諸団体の代表

●まとめと行動提起

☆コーディネーター 水野浩理事長・学校長

〔主催〕旭丘高校全学教育研究集会

〔事務局〕旭丘高校「守る会」・六者懇談会・旭丘高校生徒会

〔連絡先〕小田原市城内1-13 旭丘高校内 六者懇談会事務局

TEL: 0465-23-3787, FAX: 0465-23-5944

e-mail: niina-j1@amber.plala.or.jp